

## ICTで持続可能な農業を目指す (農業におけるICTを活用した最先端技術の実証実験)

- ① 産官学金言等の関係者が連携した「農業コンソーシアム」を開催(飯綱町、高山村連携)  
・ICTの活用を含め、今後の研究課題や持続可能な農業基盤の確立に向けた対策を協議。
- ② 気象センサを設置し、データに基づく農場管理を実践(飯綱町)  
・センサを13台設置し、データ(気温、湿度、土壌水分等)を収集。  
・若手農家等にタブレット端末16台を貸与し、データを管理。
- ③ 「ワイン用ぶどう」の効率的な栽培方法の研究及び商品開発等を実施(高山村)  
・気象センサー6台を設置、気象解析システムを構築し、データ収集を開始。  
・醸造用タンク10基、果実及びワイン分析機器を導入し、少量多品種のワイン開発を開始。



(タブレット端末操作説明会)



(気象観測用センサー)

## 農業従事者の若返り、労働生産性の向上、異業種間の連携促進、ブランド価値の創造

### 【重要業績評価指標 (KPI)】

- ① 新規就農世帯数(飯綱町)指標値:2世帯(H28.3)→実績値:2世帯(H28.3)
- ② 耕作放棄地面積(飯綱町)指標値:193ha(H28.3)→実績値:188ha(H28.3)
- ③ ワイナリー創業(高山村)指標値:1件(H28.3)→実績値:1件(H28.3)
- ④ ワイン用ぶどう栽培面積(高山村)指標値:30ha(H28.3)→実績値:35ha(H28.3)
- ⑤ 新規就農者数(高山村)指標値:1名(H28.3)→実績値:2名(H28.3)

### 今後の展開

- ・収集した気象データを基にした収穫予測・病虫害の予察。
- ・新たな担い手の確保に向けた研修施設等の設置。
- ・効率的な栽培方法で生産された農産物を使った新商品の開発と併せ海外展開及びインバウンドを推進。
- ・検査機関と連携した食味分析等を実施し、機能的食品としての可能性を調査。